

平成19年度 施政方針の概要 「第一次産業と観光の融合するまちづくり」へ

3月5日、平成19年第1回対馬市議会定例会が開かれ、松村市長は今年度の施政方針について次のとおり説明しました。



施政方針演説を行う松村市長

市長に就任して間もなく3年が過ぎようとしております。この間、皆様のご期待と信頼に応えるべく、全力を傾注して市勢の発揚に取り組んでまいりました。

しかし、市発注の公共工事入札や不適正な経理の問題等では、市民の皆様には大きな不安と動揺を与えたことは、誠に痛恨の極みであり、改めてお詫びを申し上げる次第であります。一日も早い市政への信頼回復に向けて全職員一丸となつて取り組んでいるところであります。

市民の皆様と直接対話する機会として市政説明会を昨年開催し、対馬市の抱える様々な問題点、またあるべき方向

性などを説明させていただき、参加された皆様からは、数多くの参考となるご意見もいただきました。また、市役所各部署、支所で窓口アンケートを実施しました。

これらのご提言やご要望を踏まえて検証し、誰もが住んで良かった」と感じる、夢と希望に満ちた市民参加のまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

健全な財政運営を行い、将来の財政負担を軽減します。

平成17年度に策定しました対馬市中期財政計画は、平成18年度からの5力年の期間で、収支バランスが均衡した健全な財政運営を目指すものであります。これを画餅に帰さないためには、計画の2年目である平成19年度が正念場だと思います。引き続き徹底した歳出の見直しや、簡素で効率的な行政運営に向けて取り組む所存であります。

新年度予算につきましては、行政経費及び普通建設事業費を抑制し、前年度予算額の11・2%減、合併後はじめて3

00億円を割る予算とし、本市の目標とする財政規模に一歩近づけたものと思っております。

財政健全化努力の結果、平成19年度末の市債残高見込みは、約585億円になり、平成17年度末から約57億円減少すると見込んでおりますが、それでもなお、大きな財政負担となっております。可能な限り繰上償還等を実施して、将来の財政負担を軽減してまいります。

「第一次産業と観光の融合するまちづくり」を基本に、市民の所得と福祉の向上をめざして各種政策を推進してまいります。

第一次産業を取り巻く厳しい状況下でも自立できる産業の育成・発展と活性化を促進するための各種事業を実施し、楽しく安心して暮らせる社会の実現と分権社会にふさわしい地方行政の再構築を図ってまいります。

平成19年度の予算編成に当たりましては、対馬市行財政改革大綱に基づき、新しい地

方の時代に対応した事務事業及び組織・機構の見直しや民間委託等を推進し、行政の効率化と歳出の徹底した見直しによる財政再建に努め、対馬市総合計画の実現と住民福祉の向上を図ることを基本方針としております。

各種施策・事業の優先順位につきましては、費用対効果等を勘案した厳しい選択を行い、市政に対する市民の期待に十分応え得るよう9項目の重点施策を柱に事業を構築する予算編成方針とし、第一次対馬市総合計画の「まちづくりの基本理念」であります、多彩な自然を生かした元気産業づくり、「東アジアに輝く交流の島づくり」、「安心して快適に暮らせる生活環境づくり」の3つの基本理念を基に、今後の目標を6つの施策大綱に置き、本市の将来像である「アジアに発信する歴史街道都市対馬」の実現に向け予算を編成しました。

第1 「創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち」
地場産業の振興と観光との連携を図る事業として、対馬しいたけ復活プラン推進事業、イノシシ処理加工施設整備事業、磯焼け対策事業、種苗放流事業、新世紀水産育苗事業、漁業・漁港・漁場整備事業、港

湾整備事業費等を計上しております。また、対馬ブランド化の推進に向けて、特産品の販売・流通体制の構築を図ってまいります。

U・イターン等定住化対策の促進を図る事業として、定住住宅用地分譲等調査事業を今年度から実施致します。今年度は、市有地の中から分譲宅地として活用可能な土地を選定し、分譲のための区画の整理及び環境整備の計画書等を策定します。

また、漁業に就業する意欲のあるものを育成する漁業新規就業者促進対策事業、定住促進のための田舎暮らし体験ツアー事業、アイランダー事業費等を計上しております。

また、新たな雇用の創出等を促進するため、企業誘致に取り組んでまいります。

野球を通して、次世代を担う青少年に夢や希望を与えるために、引き続き対馬市民球団「まさかりドリームス」を運営します。平成19年度は、国土交通大臣杯第3回離島交流少年野球大会を対馬市において開催いたします。

第2 「豊かな自然との調和を図り、地球環境にやさしい人とまち」
かけがえのない自然環境の保全を図る事業として、日韓

湾整備事業費等を計上して

大学生とのゴミサミットに係る事業費、資源循環型社会の構築を図る事業として、地域新エネルギービジョン策定調査事業費を計上しております。また、海洋温度差発電の誘致につきましても引き続き取り組んでまいります。

第3「固有の歴史文化を発信し、交流の活発な人とまち」

韓国をはじめとする東アジア都市との国際交流の促進を図る事業として、対馬アリアン祭り、国境マラソン、ちんぐ音楽祭の対馬3大イベントの開催、影島区との行政・スポーツ交流、ホームステイなどの交流事業費等を計上しております。観光客の受け入れ態勢整備のために、地域案内情報板設置等のまちづくり交付金事業、中村地区街なみ環境整備事業費等を計上しております。

島外との交通便利性を高めるため、国際航路利用促進事業補助金を計上しております。

第4「地域が連携して支える教育・文化の充実した人とまち」

豊かな心や確かな学力を育む教育体制を構築するための総合学習事業、心の教室相談員・介助員設置事業、社会科副読本作製事業、また、教育

施設の充実・整備を図るため、教育パソコン更新事業、給食運搬車更新事業、校舎等耐震診断事業、幼稚園施設改修事業費等を計上しております。学校の統廃合につきましても、平成20年4月の瀬分校統合に伴うスクールバス購入費、車庫建設費等を計上しております。

地域資源を活かした生涯学習の充実を図る事業として、放課後子ども教室推進事業、男女共同参画推進事業、市民人権啓発活動事業費等を計上しております。

第5「思いやりと健やかさを育む健康・福祉のひとまち」

芸術文化活動の振興を図る事業として、つしま市図書館を地域の情報発信基地として充実するための図書、視聴覚備品等の整備、優れた芸術文化鑑賞機会を提供するための交流センター公演事業費等を計上しております。

医療・救急体制の充実を図る事業として、適正な医療が受けられる医療体制を構築するための離島医療圏病院負担金の、対馬地区救急医療対策在宅医委託料、救命率向上のためのAEDリース料等を計上しております。

保健福祉サービスの充実を

図る事業として、健康対馬21の策定、地域福祉計画の策定、また、保健、福祉サービスの支援のための特別障害者手当等給付費、自立支援給付費、福祉のまちづくり推進事業費等を計上しております。

住民の社会参加支援システムの構築を図る事業として、シルバー人材センター運営補助金、精神障害者地域活動所運営費補助金等を計上しております。

身近な道路交通ネットワークの整備促進を図る事業として、道路交通網の整備のための市道整備事業、国道整備事業負担金を計上しております。安全で質の高い住環境の整備を図る事業として、合併処理浄化槽設置事業、市営住宅の整備事業、また、安全・安心のまちづくりのための防災行政無線再編整備事業、高規格救急車購入事業費等を計上しております。

第6「快適な暮らしを支える生活基盤の整った人とまち」

平成19年度から市民参画・協働によるまちづくりとそのために、「わがまち元気創出支援事業」を設けました。市民が自ら考え、実践する地域づくり事業を支援するもので知

恵と工夫を活かした、特色ある地域づくり、住環境の整備などに、是非この制度を活用して、私どもと一緒にまちづくりに取り組んでいただけたらと思っております。また、市民の発想力や創造力、得意分野を活かした新しい行政運営を進めるために、市民と行政が共有できる実効性のある方針となる「市民協働推進指針」を策定いたします。

地域情報ネットワークの構築を図る事業として、CATV整備事業、移動通信エリア拡充事業等の通信基盤の整備費等を計上しております。

(6つの施策大綱に伴う主な事業は、6ページに掲載)

市長の動き

〈3月〉

- 1日 99歳到達者褒状贈呈
- 5日 対馬市議会定例会本会議
- 11日 自衛隊入隊予定者激励会、対馬市体育指導委員協議会全国表彰祝賀会
- 12日 市商工青年部との懇談会
- 13日 対馬市議会定例会本会議
- 14日 市商工婦人部との懇談会
- 16日 17日 県離島航路行政連絡会議 (長崎)
- 19日 対馬市議会定例会本会議
- 20日 21日 県離島医療圏組合議会 (長崎)
- 22日 23日 通信使400年祭開催地会議、全国漁港漁場協会正副会長会議・理事会 (東京)
- 24日 「しま自慢観光力レッシュ」終了式
- 25日 たらやまの森再生プロジェクト「舟志の森」植樹祭
- 26日 対馬物産開発株(株)取締役会
- 28日 高齢者保護福祉計画・第3期介護保険事業計画策定委員会
- 30日 退職者辞令交付

平成19年度一般会計予算 287億7000万円

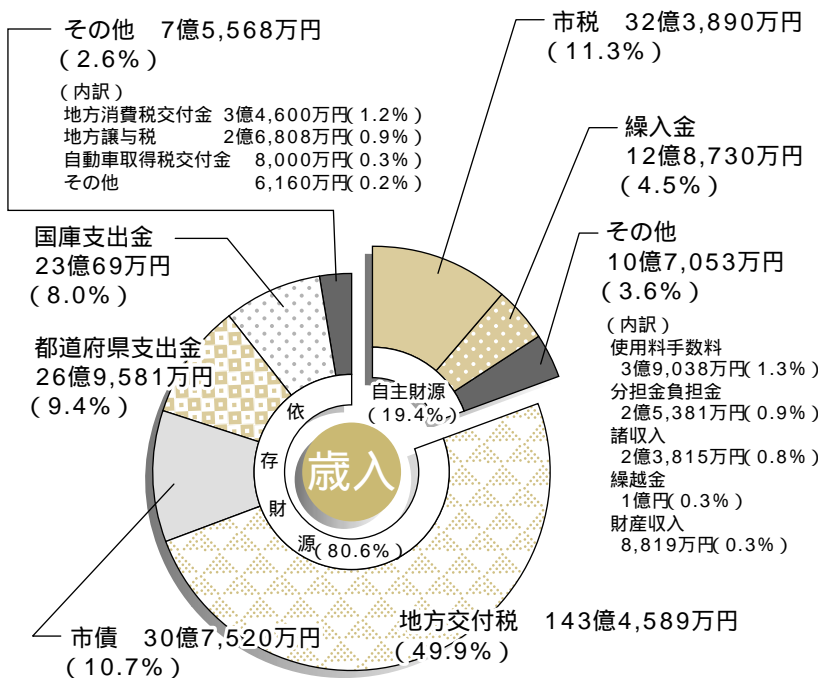
財政健全化へ向けて 2年連続の超緊縮型予算 合併後初めて300億円を切る

平成19年度一般会計当初予算は、行政経費や建設事業費を抑え、前年度比11.2%減の総額287億7千万円で、2年連続の超緊縮型予算となり合併後初めて300億円を切りました。

対馬市の財政は、国の地方交付税総額の減額などの三位一体改革の影響、また過去の建設事業に伴う公債費（借入金返済）負担などにより非常に厳しい状況にあります。

平成19年度の予算規模は、一般会計と10の特別会計を併せると総額435億1,742万円（対前年比37億1,862万円減、7.9%）です。

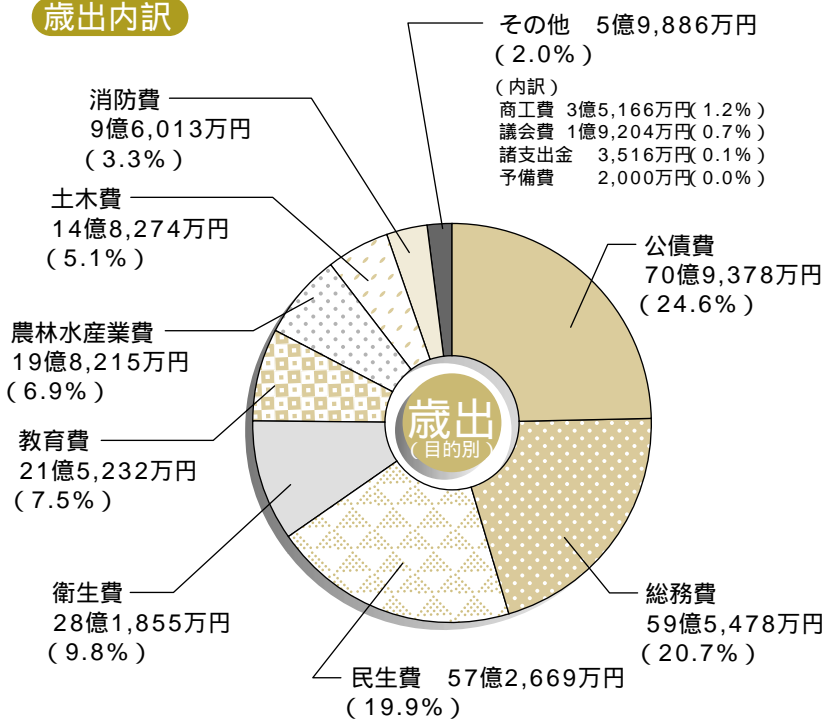
歳入内訳



歳入

財政再建へ向けて借入金は大幅減
 昨年度と比べて自主財源の柱である市税は、定率減税の廃止
 所得税から住民税への移譲等により3億1,174万円増とな
 っています。
 依存財源で減少額が大きいのは、国庫支出金で13億7,23
 9万円減少しています。これは市街地再開発事業の完成が主な
 要因です。
 また、将来の財政負担となる市債（借入金）は建設事業費を
 抑制したため18億2,660万円の減となっています。市債の
 うち合併特例債は15億5,690万円で、有線テレビ施設整備
 峰港湾施設整備事業などに使われます。

歳出内訳



歳出(目的別)

建設事業費の縮小により土木費、農林水産業費は大幅減
 昨年度と比べて、減少額が大きいのは、土木費（39億1,0
 60万円減、72.5%）、農林水産業費（5億6,457万
 円減、22.2%）で、これは市街地再開発事業の完成（約35
 億円減）、道路整備の縮小（約3億円減）、漁港整備の縮小
 （約4億円減）によります。
 一方、増加額が大きいのは、総務費（7億3,127万円増、
 14.0%）、衛生費（1億6,146万円増、6.1%）で、
 有線テレビ整備事業（約8億円増）、ごみ処理経費（約1億4
 千万円増）が主な要因です。

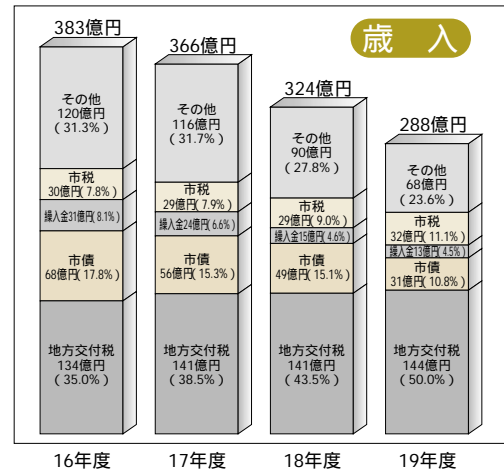
当初予算額の推移

歳入 市税は、定率減税の廃止、所得税から住民税への移譲等により平成19年度は増加しています。

繰入金（貯金の取り崩し）は年々減少してきています。中期財政計画では平成22年度にこの繰入金がゼロとなるよう目標を定めています。

借入に当たる市債は、将来の公債費(借金返済金)の増加を招き財政運営に及ぼす影響がおおきいため借入額を抑制しています。

地方交付税は、ほぼ横ばい状態ですが、合併後5年間限定の臨時上乗せ分、生活保護経費の増分等によるもので、実質は国の「三位一体の改革」の推進などにより減少しています。

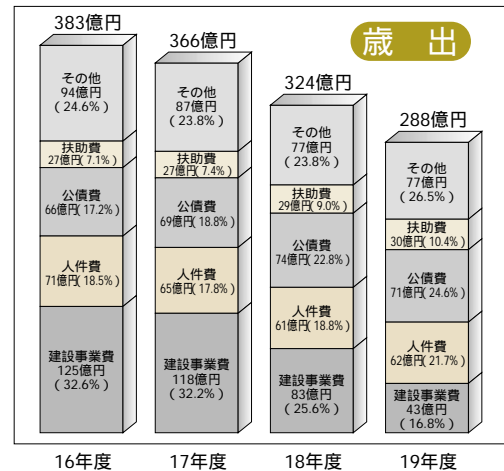


歳出 扶助費は合併により市制となったため町では無かった生活保護費の負担が発生し、また年々増加傾向にあります。

公債費は、財政健全化を目指して市債の借入額を抑制しているため18年度をピークに減少していく見込みです。

人件費は、退職職員の不補充、新規採用者の抑制により減少傾向にありますが、19年度は県議会議員など4つの選挙が予定されており、これに係る人件費（投票立会人等報酬、職員時間外手当）、また早期退職者の退職手当負担金の影響で前年度より増加します。

建設事業は、市債借入を伴い財政状況悪化を招くため抑制しています。

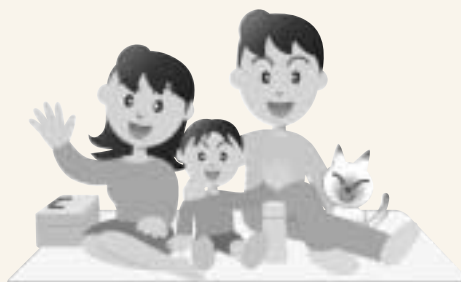


会計名	予算額	対前年度増減額	対前年度増減率
診療所特別会計	2億1,782万円	708万円	3.1
公共用地先行取得特別会計	廃止	5億4,927万円	皆減
国民健康保険特別会計	57億197万円	7億5,017万円	15.1
老人保健特別会計	42億267万円	9,581万円	2.2
介護保険特別会計	30億2,203万円	7,530万円	2.6
介護保険地域支援事業特別会計	1億859万円	330万円	2.9
特別養護老人ホーム特別会計	4億7,077万円	1,103万円	2.3
簡易水道事業特別会計	9億3,921万円	2億5,486万円	21.3
集落排水処理施設特別会計	1,887万円	429万円	29.4
旅客定期航路事業特別会計	3,084万円	172万円	5.9
風力発電事業特別会計	3,465万円	125万円	3.7
合計	147億4,742万円	8,862万円	0.6

企業会計(水道事業)予算

区分	金額
収益的収入	2億7,421万円
収益的支出	2億6,164万円
資本的収入	4,700万円
資本的支出	1億7,145万円

資本的収入での不足分は当年度損益勘定留保資金などで補って運営します。



特別会計・企業会計予算

特別会計・企業会計とは、独立採算制を原則とすべき事業を行う場合に一般会計と区別している会計です。
本市には次の通り10の特別会計と1の企業会計があります。なお、市街地再開発事業用地を管理していた公共用地先行取得特別会計は、18年度で事業が完了したため廃止されています。

平成19年度の主な事業

創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち

地場産業の振興を図ります

対馬しいたけ復活プラン推進事業 7,318万円（大型生産団地、種駒購入補助、オーナー制度導入他）
 漁業後継者対策補助 820万円（漁業新規就業者促進、担い手確保） イノシシ等有害鳥獣対策事業 3,700万円（捕獲補助金） 漁港整備 6億7,058万円（16漁港 防波堤、浮棧橋 他）

地域経済の活性化、定住化を促進します

企業誘致対策経費 380万円
 U・Iターン等定住化対策事業 241万円（田舎暮らしツアー、定住住宅用地分譲等調査）

青少年に夢や希望を与えます

市民球団運営 865万円（指導者育成、野球教室）
 離島交流少年野球大会 1,818万円（H19.8実施、16チーム参加予定）



豊かな自然との調和を図り、地球環境にやさしい人とまち

自然環境の保全を推進します

漂流漂着ごみ対策 758万円（日韓大学生による清掃活動） ごみ処理関連経費 8億2,882万円（ごみ収集委託費、処理場管理運営費 他） し尿処理関連経費 2億6,013万円（処理場管理運営費 他）
 し尿・汚泥再生処理施設整備基本計画策定 357万円（し尿・汚泥再生処理施設整備基本計画策定）

自然エネルギーの開発を進めます

地域新エネルギービジョン策定調査 806万円（森林資源等を有効活用する新エネルギー導入に向けての取組）

固有の歴史文化を発信し、交流の活発な人とまち

国境を越えた文化交流を充実します

朝鮮通信使訪日400周年記念事業補助金 150万円
 ちんく音楽祭・国境マラソン・アラン祭補助金 1,200万円

地域資源を活かした交流人口の拡大を図ります

観光ガイドブック作成 618万円（日本語版、ハングル語版） 観光物産協会補助金 1,890万円（対馬観光物産協会運営費補助） まちづくり事業 1億円（地域案内情報板設置、市道美装化） 文化財保存整備 2,400万円（清水城・矢立山古墳・金田城跡保存整備事業）



地域が連携して支える教育・文化の充実した人とまち

教育施設の充実・整備を図ります

学校パソコン更新事業 840万円（小・中学校パソコン更新） 給食運搬車購入 528万円（1台）
 スクールバス整備 950万円（瀬分校統合に伴うスクールバス購入、車庫整備）

芸術文化に触れる機会の拡大を図ります

交流センター公演事業 849万円



思いやりと健やかさを育む健康・福祉の人とまち

医療・救急体制の充実を図ります

離島医療圏組合病院負担金 7億1,588万円（いづはら、中対馬、上対馬病院）
 AED（心臓電気ショック機器）設置 77万円（各支所、厳原港等7台）

保健・福祉サービスの充実を図ります

社会福祉協議会補助 1億1,889万円（運営費補助） 国保・老人・介護保険会計等繰出金 14億4,766万円（国保・老人・介護保険会計等への一般会計負担分等） 生活保護費 13億2,606万円（生活保護費の支給） 地域福祉計画策定 667万円（福祉サービスの適切な利用推進、福祉活動の市民参加促進等を目的とした計画書）

スポーツ・健康増進施設の充実を図ります

温泉施設管理運営費 7,414万円（湯多里ランドつしま、真珠の湯、渚の湯、ほたるの湯）
 町民体育祭開催事業 264万円（厳原町、峰町、上県町）

快適な暮らしを支える生活基盤の整った人とまち

情報通信基盤・道路交通を整備します

有線テレビ施設等整備 21億2,480万円（伝送施設160km、自主放送施設整備他） 携帯電話鉄塔施設整備 1億2,043万円（洲藻、女連） 道路整備 8億1,019万円（道路改良、20路線）

安全・安心のまちづくりを推進します

高規格救急車購入 3,100万円（1台）
 防災行政無線再編整備 2,714万円（県防災行政無線の再編、衛星系設備他）

安全で質の高い住環境の整備を図ります

北部地区斎場建設 1,161万円（佐須奈、用地測量設計、用地購入）
 合併処理浄化槽設置補助 4,495万円（104基）

その他

市民参画・協働によるまちづくりを推進します

わがまち元気創出支援事業 1,000万円（地域づくり事業を实践する地区、ボランティア団体等への補助金）
 市民協働推進指針策定 103万円（市民の発想や得意分野を活かしながら行政運営を進めるための指針策定）